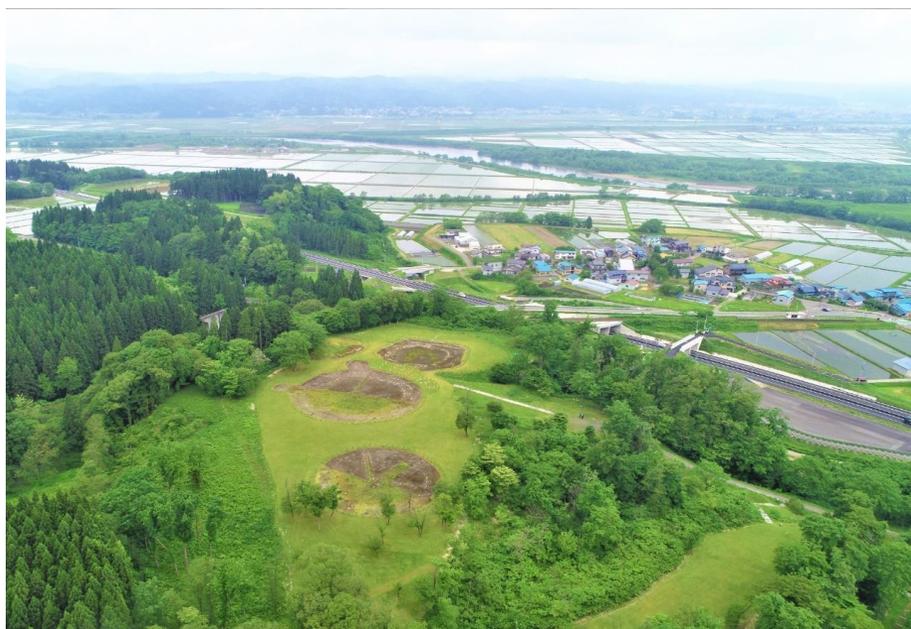


地域とともに未来を創造する 小規模義務教育学校9年間の学び



世界文化遺産
北海道・北東北の縄文遺跡
群
「伊勢堂岱遺跡」
～4つのストーンサークル
～



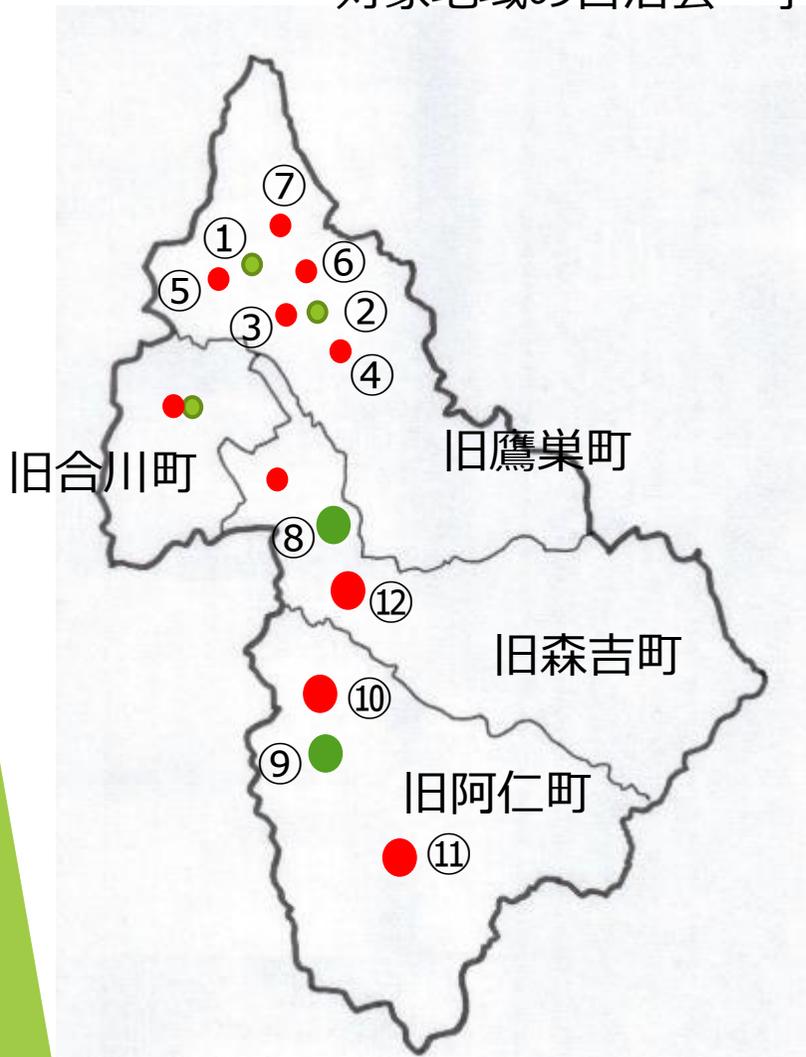
秋田県北秋田市教育委員会

令和4年8月26日

北秋田市小中学校適正規模再編プラン検討委員会

対象地域の自治会・学校・保育園の代表や地域の有識者17名の委員で構成

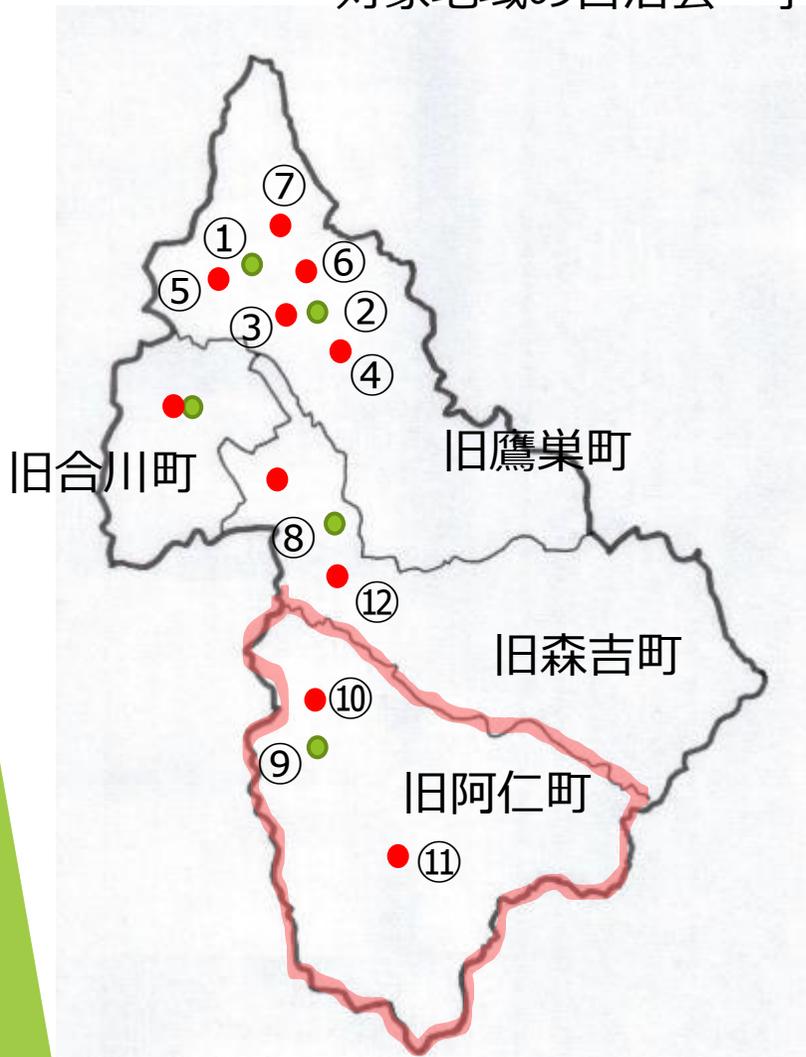
5つの統合案（平成28年7月）



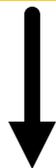
- (1) ①鷹巣中学校・②鷹巣南中学校
- (2) ③鷹巣中央小学校・④鷹巣南小学校
- (3) ⑤鷹巣小学校・⑥鷹巣東小学校・
⑦綴子小学校
- (4) ⑧森吉中学校・⑨阿仁中学校
- (5) ⑩阿仁合小学校・⑪大阿仁小学校・
⑫前田小学校

北秋田市小中学校適正規模再編プラン検討委員会

対象地域の自治会・学校・保育園の代表や地域の有識者17名の委員で構成



平成29年3月 一部白紙に



※ ⑧⑨の統合、⑩⑪⑫の統合

令和3年7月 合意

阿仁地区の小中学校3校を統合し、
「令和5年4月開校を目指して義務
教育学校を設置する」ことで合意

スタートから
約4年が経過

● 小学校

● 中学校

地域とともに 未来を創造する 小規模義務教育学校 9年間の学び

1.合意を得るまで

- 1-1 本市の学校の様子
- 1-2 北秋田市小中学校適正規模・配置再編プラン
- 1-3 地域との話し合い
- 1-4 解決に向けて
- 1-5 地域との合意

2.小規模義務教育学校

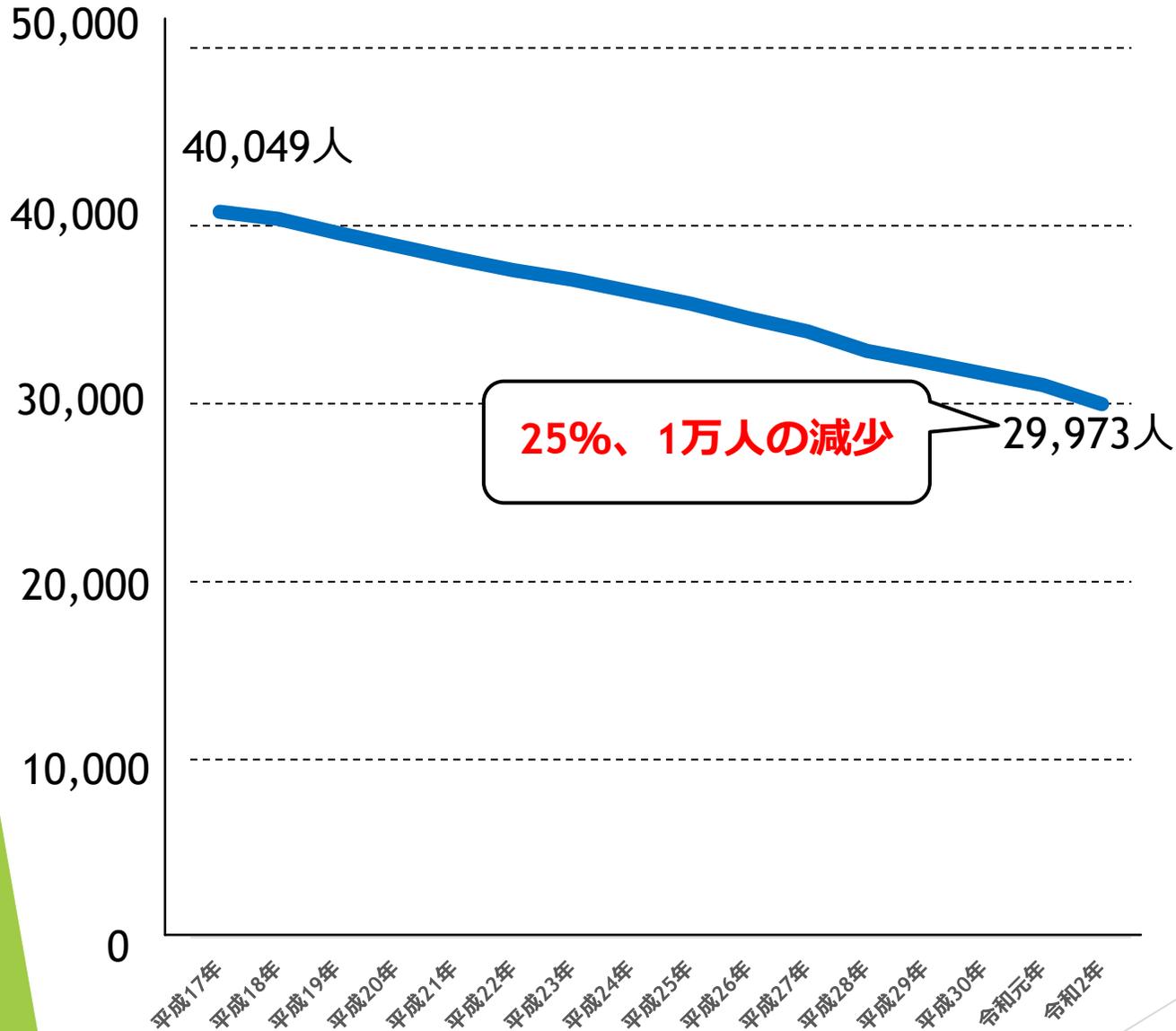
- 2-1 なぜ義務教育学校なのか
- 2-2 地域と義務教育学校

3.最後に



1-1 本市の学校の様子

北秋田市の人口



平成17年

児童生徒数 3,017人

小学校 16校

中学校 5校

8校が閉校

令和4年

児童生徒数 1,564人

小学校 9校

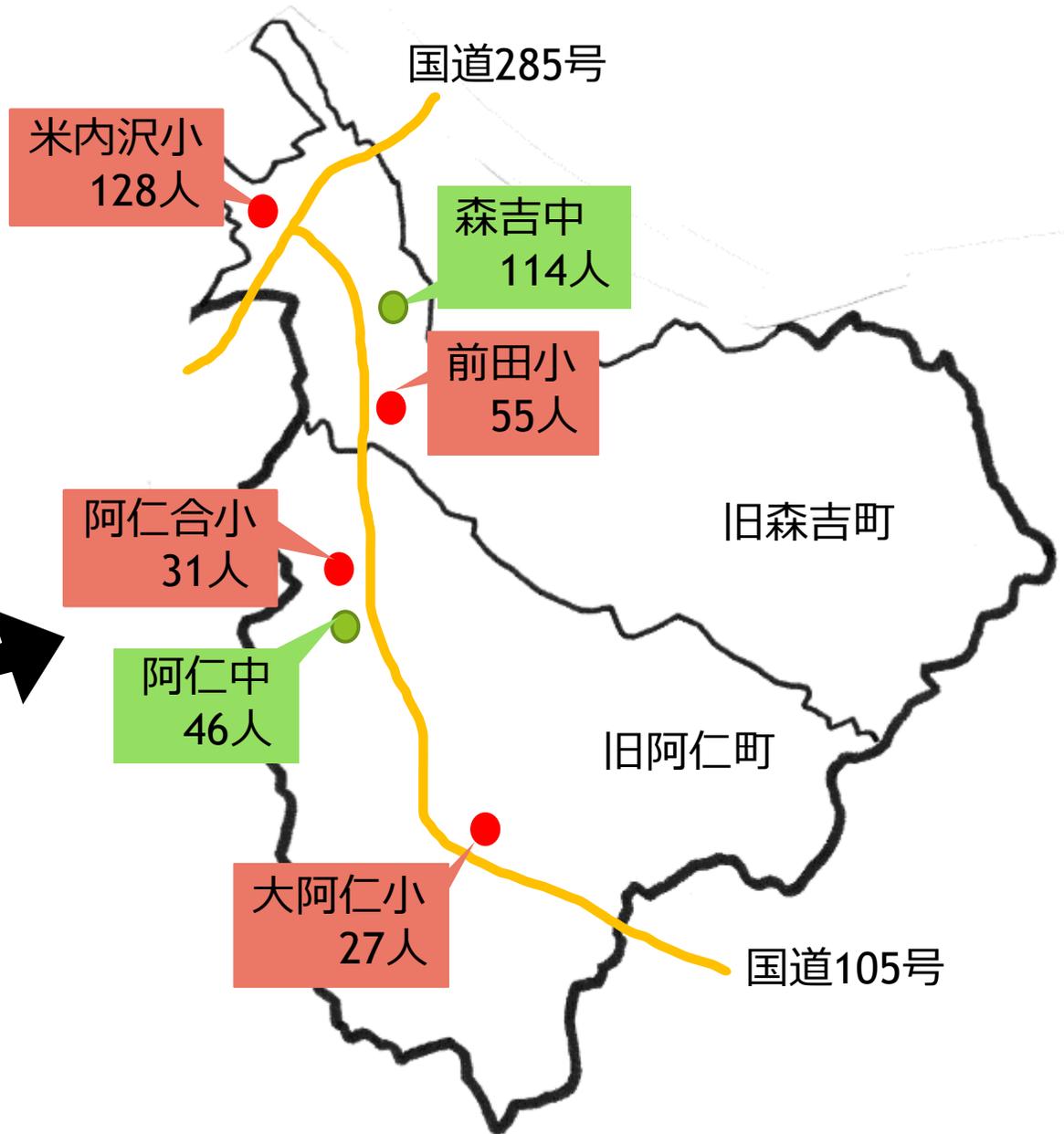
中学校 4校

1-1 本市の学校の様子

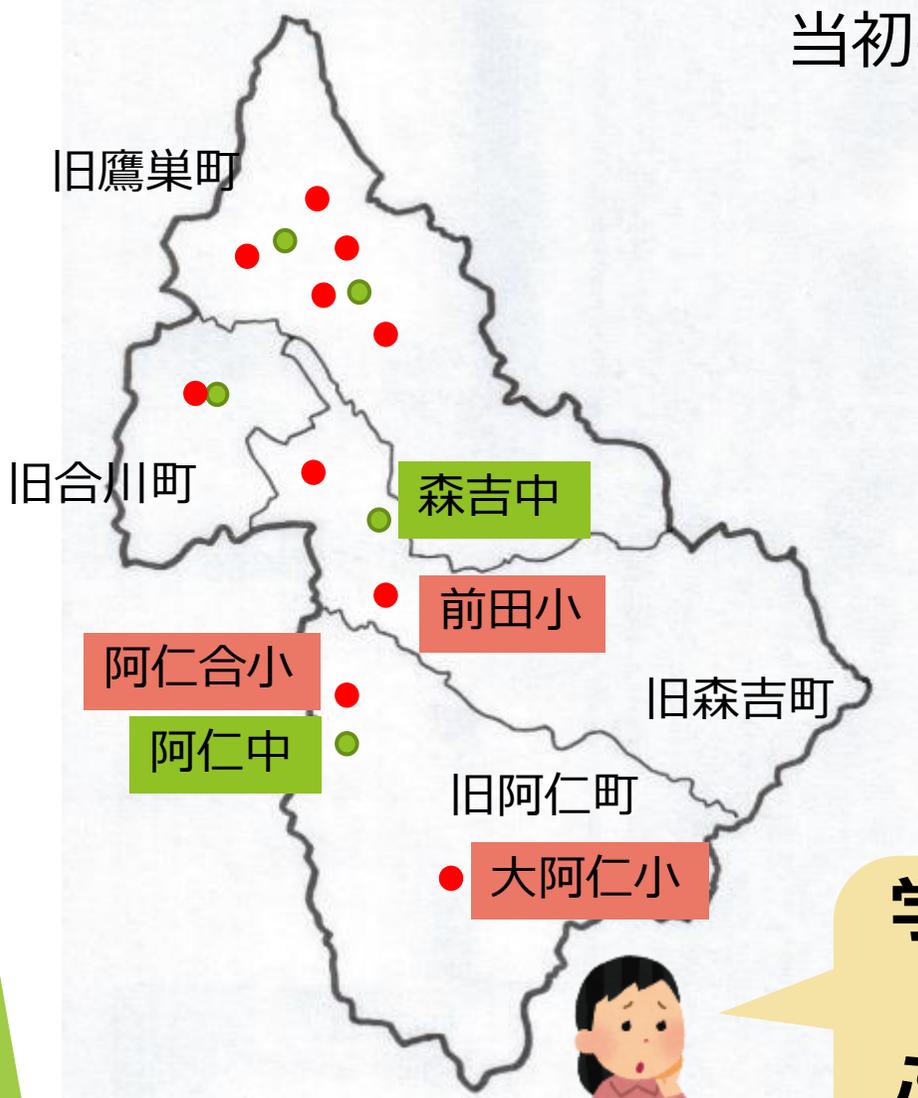
平成17年：4町が合併して北秋田市が誕生



● 小学校 ● 中学校



当初の事務局案



(4) 阿仁中学校→森吉中学校

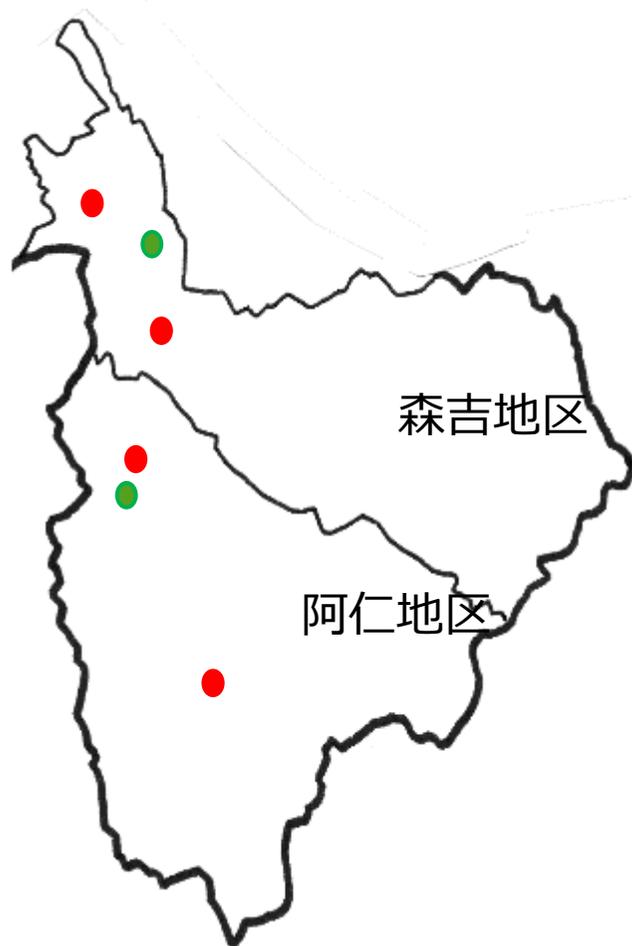
(5) 大阿仁小学校→阿仁合小学校
→→前田小学校

学校が無くなるということは、
私たちが子どもたちに、
ふるさとに帰っておいでと言え
ないということですか。

● 小学校

● 中学校

北秋田市小中学校適正規模・配置再編プランに追加された付帯意見



- ◇統合の可否、妥当性、在り方、方向性などについて、様々な視点から保護者や地域住民と話し合いをして決める。
※視点=子どもの教育の視点、地域活性化の視点
- ◇小学校・中学校とも、すべての統合実施地区の保護者や地域住民と話し合いをする。
- ◇話し合いの期間は3年間を目処とする。
- ◇話し合いの結果によっては、3年以内であっても統合が実施されることがある。
- ◇児童生徒の気持ちや意見を聞くことも必要である。

プラン策定時に示した過小規模校のプラス面とマイナス面

過小規模校のプラス面

- ・ 個に応じたきめ細やかな指導が可能
- ・ 異学年活動が多いことから見習ったり、手本となる心が育つ
- ・ 間接指導で子どもの自主性が育つ
- ・ 活躍する場面が多く、積極性や自主性が育つ
- ・ 地域住民との交流やふるさと学習を進めやすい
- ・ 地域住民に大事にされて育つ傾向がある

過小規模校のマイナス面

- ・ 学年の人数、男女比に偏りが生じることが多い
- ・ 学習内容を子ども同士で深め合ったり、協働で成し遂げる経験が不足し、人間関係が固定化
- ・ 活動場面が多いことが子どもの負担になることもある
- ・ 競争意識が育ちにくい傾向にある
- ・ 子ども同士で学習を進める習慣をつけないければ間接指導時に学習が不成立
- ・ 複式授業の教師の指導の困難さ

本市が目指す小中学校の適正規模 (以下のいずれかであればよい)

- ① 「小中学校とも学級替えができる規模（1学年2学級）」
- ② 「1学年1学級であっても20人程度の児童生徒がいる規模」
- ③ 「過小規模校の解消（＝複式学級の解消）」

①としながらも、通学距離を考えると無理が生じるため、
②の複数のグループ編成が可能になる規模を適正規模の範疇とし、
③を目指して取り組む。

- H28.7 北秋田市小中学校適正規模再編プラン検討委員会設立
- H29.3 プランの一部が白紙に
- H29.5 教育長に就任
- H29.9 地域との話合いを始める

今後の小・中学校の在り方について意見を聞く会

場所：学校、公民館 時間：18時30分以降

- 保護者を含む地域住民との話合い：7回
- 小中の保護者との話合い：5回
- 保育園の保護者との話合い：2回

計14回

話し合いで出された地域住民の意見

統合に前向きな意見

- ・ 森吉地区と阿仁地区の小学校3校を統合して、通学距離が真ん中になる場所に設置。
- ・ 部活動などを考えると、2つの中学校は早めに統合。

統合に反対な意見

- ① 小学生の通学に係る距離（最大32.3km）、時間を考えたときに、前田小への3校統合は反対
- ② 小中併設型でも良いので、阿仁地区に学校を残してほしい。阿仁地区の小中一貫教育校に。
③ 学校がなくなると地域が衰退する。
③ 教師が大変だという理由で、複式学級のない規模でと言うが、3校統合してもいずれ複式学級ができる。

1. 通学に係る距離

大阿仁小学区の打当地区から

片道 **32.3km**

夏 **50分程度**

冬 **1時間程度**



小学校1年生には負担が大きいのでは・・・



2. 学校がなくなることによる地域の衰退

◆コミュニティースクールとして地域の特性を活かした取組



花壇作業



「いぶりがっこ」づくり

→ **全ての学校で学校運営協議会を設置**

◆郷土資料集「きらり☆きたあきた」の活用

学区が広がっても学校と地域の協働活動が推進される仕組みづくり



3.複式学級の解消

複式学級で学んできた保護者、複式授業を指導してきた教師から

なぜ複式学級ではだめなのか？



複式授業のメリットは

- 子どもたち同士で学習を進める力
- 少人数による個に応じた指導
- 異学年からの学び
- 一人一人の活動量の多さ



◆全国学力学習状況調査の全国平均を100としたときの阿仁地区小・中学校の平均
(平成25年～令和元年度までの7年間の平均)

A校	B校	C校
117.8	120.8	121.5

1-4 解決に向けて

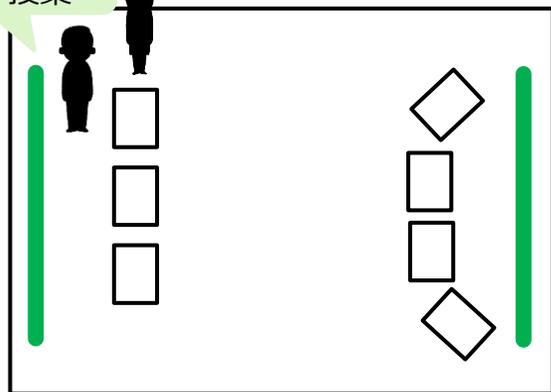
複式授業の指導技術を習得 → 子どもにとっては大きな**プラス**

平成30年度から **小規模校特任教諭** を加配

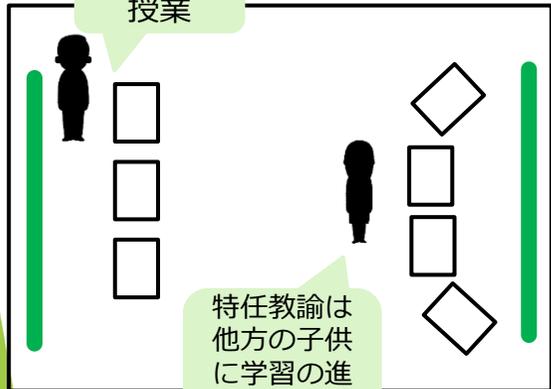
複式指導に優れた教員が、担任と一緒に授業をすることで、複式授業の学習方法や指導方法を子どもや教員に習得させる。

特任教諭は担任に授業の進め方を指導

担任は授業



担任は授業



特任教諭は他方の子供に学習の進め方を指導



指導方法を助言



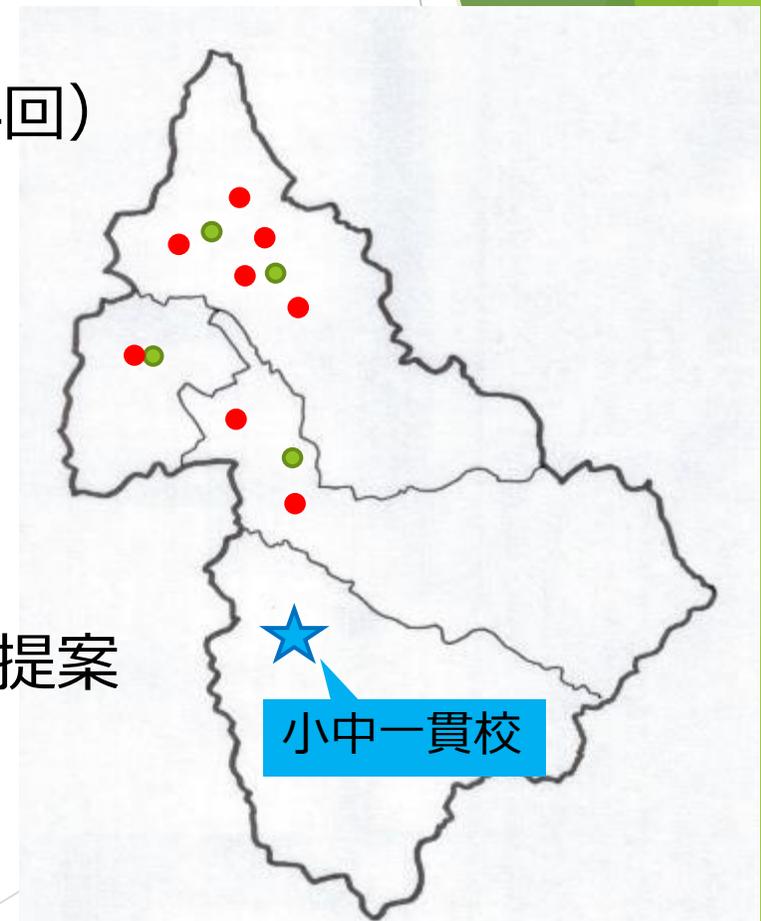
学習方法を支援

遠隔授業の様子

多様な考えにふれる機会が増えました



- H28.7 北秋田市小中学校適正規模再編プラン検討委員会設立
- H29.3 プランの一部が白紙に
- H29.5 教育長に就任
- H29.9 地域との話し合いを始める（計14回）
- H30.4 小規模校特任教諭の設置
遠隔授業の開始
- R 2.3 阿仁地区に小中一貫教育を行う
学校を設置することで合意
- R 3.7 義務教育学校を設置することを提案



1 教育課程の効果的な運用

＜令和6年度＞
阿仁学園の
学級数と
教員予定数

課程	学級数			教職員数						
	普通学級	特支学級	計	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	計
前期課程	4	1	5	1	1	1	6	1	1	22
後期課程	3	2	5				11			
計	7	3	10	1	1	1	17	1	1	22



複式のよさを活かしながら、教師の負担も解消

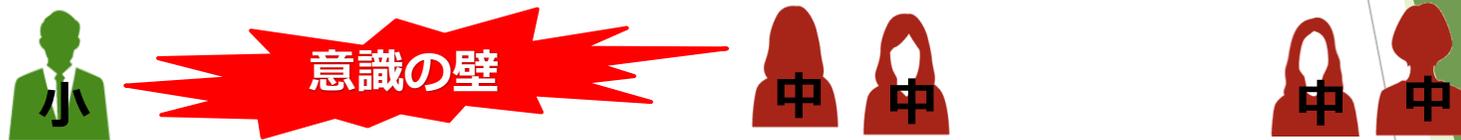
1年	2・3年	4・5年	6年	特支	7年	8年	9年	特支	特支
	体育	英語	家庭			数学	美術	社会	理科

◎ 前期課程の教科担任制

◎ 後期課程の免許外教科担任の解消

2 小中一貫教育の充実

小・中の乗り入れ授業 ⇔ 専門性の高い授業
⇔ 小・中の系統性を意識した授業



義務教育学校教員は全員が9年間の教員

小中連携 → 小中一貫教育への移行

3 子どもの成長の連続性とふるさと教育、キャリア教育や学校と地域との関わり



他校との交流



地域との交流



外への発信



クロモジ茶の採集・加工



クロモジ茶の販売体験

北秋田市クリーン
アップへの参加率

56.3%

昨年の約5倍

2-1 なぜ義務教育学校なのか



個に応じたきめ細かい指導



自分たちで学びを進め深める学習



伝統芸能の継承



地域と一体となった行事の運営
(スポーツフェスタ)



地域に貢献する活動
(ボランティアガイド)



豊かな自然

連続した学びや
人間関係

温かい地域
の人々

地域を支える
人材に



地域の活性化に寄与

3.最後に

義務教育学校阿仁学園 児童生徒数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	全校
令和5年	6	7	6	8	6	6	12	6	10	67人
令和10年	3	3	3	5	3	6	7	6	8	44人

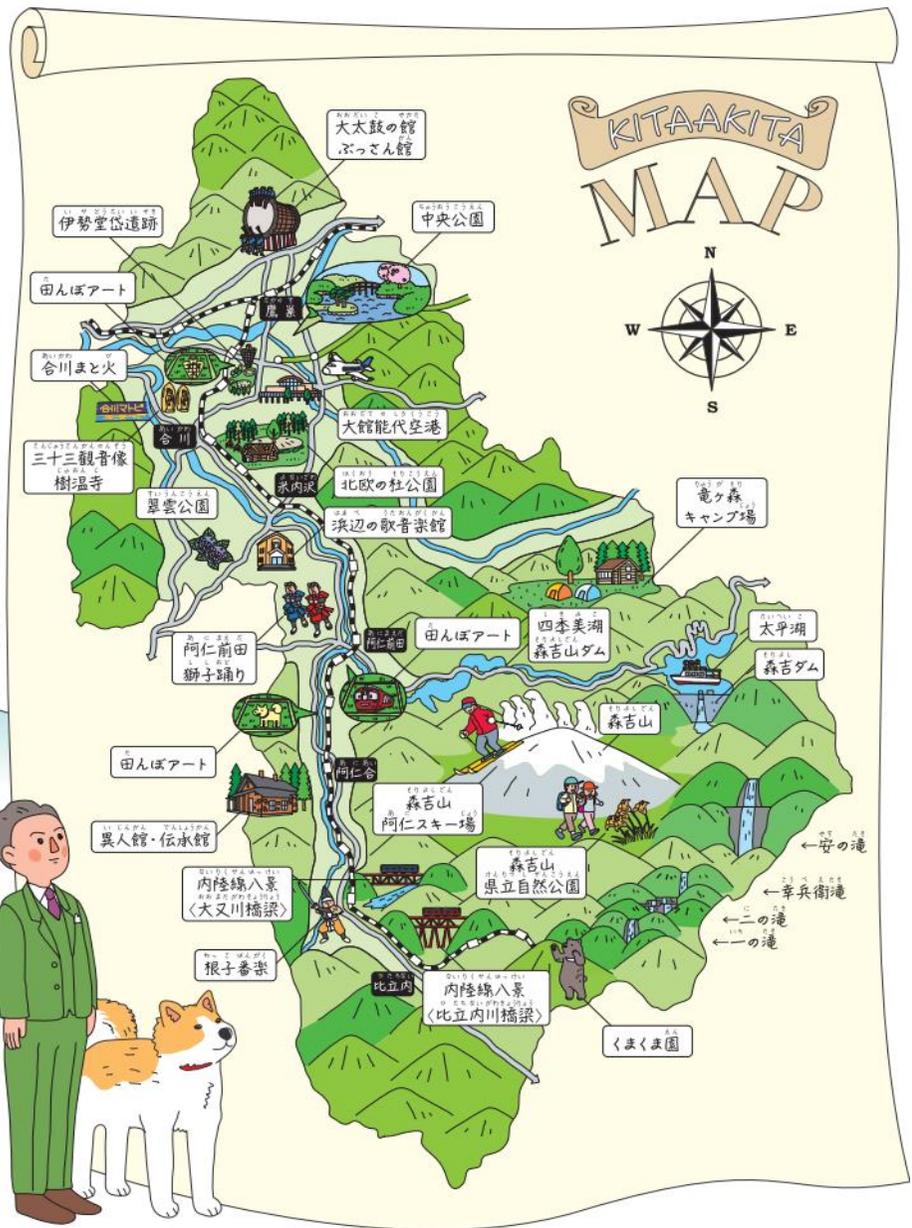


将来は阿仁地区を
支えたい！



この地区で子育て
をしたい！

3.最後に



「浜辺の歌」秋田県民歌を
作曲した成田為三先生

御清聴ありがとうございました。